

## 定尺計算「する」の時の集計表の数量の違い

計算条件設定で、定尺計算「する」の時と、「しない」の時の集計表の数量の違いと、「する」の時でも、通常の集計表と、定尺の集計表との数量の違いを説明します。  
(階別集計表も同様の仕様となります)

### 1. 定尺計算「する」の時と、「しない」の時で、部位別集計表や階別集計表の数量が異なる理由

#### ① 定尺計算「しない」の時

##### 1) 計算書に以下のように出力された時

階記号	壁	径	鉄筋 (m)		
1	W 150	(SD295A)	D10 0.18×5×1×1=	0.90	1階 D10 25.44m
			D10 0.73×9×1×1=	6.57	
			D10 0.73×9×1×1=	6.57	
			D10 0.15×18×1×1=	2.70	
			D10 0.18×5×1×1=	0.90	
			D10 0.18×3×1×1=	0.54	
			D10 0.18×12×1×1=	2.16	
			D10 0.15×24×1×1=	3.60	
			D10 0.18×5×1×1=	0.90	
			D10 0.15×4×1×1=	0.60	
2	W 150	(SD295A)	D10 0.18×5×1×1=	0.90	2階 D10 25.44m
			D10 0.73×9×1×1=	6.57	
			D10 0.73×9×1×1=	6.57	
			D10 0.15×18×1×1=	2.70	
			D10 0.18×5×1×1=	0.90	
			D10 0.18×3×1×1=	0.54	
			D10 0.18×12×1×1=	2.16	
			D10 0.15×24×1×1=	3.60	
			D10 0.18×5×1×1=	0.90	
			D10 0.15×4×1×1=	0.60	
3	W 150	(SD295A)	D10 0.18×5×1×1=	0.90	3階 D10 25.44m
			D10 0.73×9×1×1=	6.57	
			D10 0.73×9×1×1=	6.57	
			D10 0.15×18×1×1=	2.70	
			D10 0.18×5×1×1=	0.90	
			D10 0.18×3×1×1=	0.54	
			D10 0.18×12×1×1=	2.16	
			D10 0.15×24×1×1=	3.60	
			D10 0.18×5×1×1=	0.90	
			D10 0.15×4×1×1=	0.60	

2) 部位階別集計表に各階の合計長さに単位重量を乗じてtonに換算します。

(SD295A)D10		(単位 = t)				
階	壁	階段	ハコット	雑A	雑B	合計
1	0.01					0.01
2	0.01					0.01
3	0.01					0.01
地上計		0.03				0.03
合計		0.03				0.03

$$25.44 \times 0.560 \div 1000 = 0.0142464 \rightarrow 0.01$$

3) 部位別集計表では、各部位ごとに、この合計の値が出力されます。

部位名称	鉄筋(t)
	(SD295A)
	D10
壁	0.03
階段	
ハコット	
雑A	
雑B	
計	0.03
ロス率%	4.00
所要	0.03

② 定尺計算「する」の時

1) 計算書で鉄筋の実長が、以下のように計算条件設定の「定尺換算設定」に基づき、丸められます。  
 (下記例では、実長が5.0m以下なので、0.25m単位に丸められる。)

階	壁	径	鉄筋 (m)		
1	W 150	(SD295A)			
		D10	0.18 0.25 5×1×1= 1.25		
		D10	0.73 0.75 9×1×1= 6.75		
		D10	0.73 0.75 9×1×1= 6.75		
		D10	0.15 0.25 18×1×1= 4.50		
		D10	0.18 0.25 5×1×1= 1.25		
		D10	0.18 0.25 3×1×1= 0.75		
		D10	0.18 0.25 12×1×1= 3.00		
		D10	0.15 0.25 24×1×1= 6.00		
		D10	0.18 0.25 5×1×1= 1.25		
		D10	0.15 0.25 4×1×1= 1.00		
					1階 D10 32.50m
		2	W 150	(SD295A)	
D10	0.18 0.25 5×1×1= 1.25				
D10	0.73 0.75 9×1×1= 6.75				
D10	0.73 0.75 9×1×1= 6.75				
D10	0.15 0.25 18×1×1= 4.50				
D10	0.18 0.25 5×1×1= 1.25				
D10	0.18 0.25 3×1×1= 0.75				
D10	0.18 0.25 12×1×1= 3.00				
D10	0.15 0.25 24×1×1= 6.00				
D10	0.18 0.25 5×1×1= 1.25				
D10	0.15 0.25 4×1×1= 1.00				
				1階 D10 32.50m	
3	W 150			(SD295A)	
		D10	0.18 0.25 5×1×1= 1.25		
		D10	0.73 0.75 9×1×1= 6.75		
		D10	0.73 0.75 9×1×1= 6.75		
		D10	0.15 0.25 18×1×1= 4.50		
		D10	0.18 0.25 5×1×1= 1.25		
		D10	0.18 0.25 3×1×1= 0.75		
		D10	0.18 0.25 12×1×1= 3.00		
		D10	0.15 0.25 24×1×1= 6.00		
		D10	0.18 0.25 5×1×1= 1.25		
		D10	0.15 0.25 4×1×1= 1.00		
					1階 D10 32.50m

2) 部位階別集計表に各階の合計長さに単位重量を乗じてtonに換算します。

(SD295A)D10 (単位 = t)						
階	壁	階段	ハコット	雑A	雑B	合計
1	0.02					0.02
2	0.02					0.02
3	0.02					0.02
地上計	0.06					0.06
合計	0.06					0.06

$32.50 \times 0.560 \div 1000 = 0.0182 \rightarrow 0.02$

3) 部位別集計表では、各部位ごとに、この合計の値が出力されます。

部位名称	鉄筋(t) (SD295A)
壁	D10 0.06
階段	
ハコット	
雑A	
雑B	
計	0.06
ロス率%	4.00
所要	0.06

2. 定尺計算「する」の時、下記右下の部位別集計表の数量について説明します。

帳票出力指示

印刷 一式印刷 終了 全選択 全解除

出力先: プレビュー, プリンター, Excel, PDF

日付: 日付印刷, 日付タイプ: 9999.99.99, 2021年 11月 12日

頁位置: 右上, 右下, 中下

本体: 物件概要, 部位別基準リスト, 記号別チェックリスト, エラーリスト

外構: 総合構造比率表(総合), 総合構造比率表(階別), 総合構造比率表(PC歩掛), RC躯体材料別集計表

計算書: 範囲指定, 部位, 階, 階

階記号別集計表: 範囲指定, 部位, 階, 階

記号別階別集計表: 範囲指定, 部位1, 部位2

床資料リスト, 雑資料リスト

小口型枠集計表, SRCかんざし筋計算書, スリブ台数, 定尺: **部位別集計表**, 定尺集計表

壁スリット計算書, SRCかんざし筋集計表, グラウト, 階別集計表, 範囲指定

壁スリット集計表, 鉄筋架台計算書, リレージョイント, 部位別集計表, 大集計, 部位別, 階別

定着プレート計算書, 鉄筋架台集計表, 止め型枠

こちらは、「定尺集計表」から数量を積み上げて集計表を作成します。

① 計算書が以下のような時、「定尺集計表」は以下のようになります。

(計算書)

階	記号	径	鉄筋 (m)
1	W 150	(SD295A)	
		D10	0.18 0.25×5×1×1= 1.25
		D10	0.73 0.75×9×1×1= 6.75
		D10	0.73 0.75×9×1×1= 6.75
		D10	0.15 0.25×18×1×1= 4.50
		D10	0.18 0.25×5×1×1= 1.25
		D10	0.18 0.25×3×1×1= 0.75
		D10	0.18 0.25×12×1×1= 3.00
		D10	0.15 0.25×24×1×1= 6.00
		D10	0.18 0.25×5×1×1= 1.25
		D10	0.15 0.25×4×1×1= 1.00
2	W 150	(SD295A)	
		D10	0.18 0.25×5×1×1= 1.25
		D10	0.73 0.75×9×1×1= 6.75
		D10	0.73 0.75×9×1×1= 6.75
		D10	0.15 0.25×18×1×1= 4.50
		D10	0.18 0.25×5×1×1= 1.25
		D10	0.18 0.25×3×1×1= 0.75
		D10	0.18 0.25×12×1×1= 3.00
		D10	0.15 0.25×24×1×1= 6.00
		D10	0.18 0.25×5×1×1= 1.25
		D10	0.15 0.25×4×1×1= 1.00
3	W 150	(SD295A)	
		D10	0.18 0.25×5×1×1= 1.25
		D10	0.73 0.75×9×1×1= 6.75
		D10	0.73 0.75×9×1×1= 6.75
		D10	0.15 0.25×18×1×1= 4.50
		D10	0.18 0.25×5×1×1= 1.25
		D10	0.18 0.25×3×1×1= 0.75
		D10	0.18 0.25×12×1×1= 3.00
		D10	0.15 0.25×24×1×1= 6.00
		D10	0.18 0.25×5×1×1= 1.25
		D10	0.15 0.25×4×1×1= 1.00

1.25 → 3.00m 1本  
 6.75 → 3.00m 3本  
 6.75 → 3.00m 3本  
 4.50 → 3.00m 2本  
 1.25 → 3.00m 1本  
 0.75 → 3.00m 1本  
 3.00 → 3.00m 1本  
 6.00 → 3.00m 2本  
 1.25 → 3.00m 1本  
 1.00 → 3.00m 1本

3.00m 16本

(定尺集計表)

( 1 階 )							
材種	径	長さ(m)	本数	長さ計(m)	単重	重量(kg)	
(SD295A)	D10	3.00	16	48.00	0.560	26.88	
(計)				48.00		26.88	
( 2 階 )							
材種	径	長さ(m)	本数	長さ計(m)	単重	重量(kg)	
(SD295A)	D10	3.00	16	48.00	0.560	26.88	
(計)				48.00		26.88	
( 3 階 )							
材種	径	長さ(m)	本数	長さ計(m)	単重	重量(kg)	
(SD295A)	D10	3.00	16	48.00	0.560	26.88	
(計)				48.00		26.88	

- ② 部位階別集計表に各階のkg数をtonに換算します。

(SD295A)D10 (単位 = t)

階	壁	階段	ハコバット	雑A	雑B	合計
1	0.03					0.03
2	0.03					0.03
3	0.03					0.03
地上計	0.09					0.09
合計	0.09					0.09

$$26.88 \div 1000 = 0.02688 \rightarrow 0.03$$

- ③ 部位別集計表では、各部位ごとに、この合計の値が出力されます。

部位名称	鉄筋(t) (SD295A) D10
壁	0.03
階段	
ハコバット	
雑A	
雑B	
計	0.09
ロス率%	
所要	0.09